





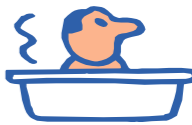




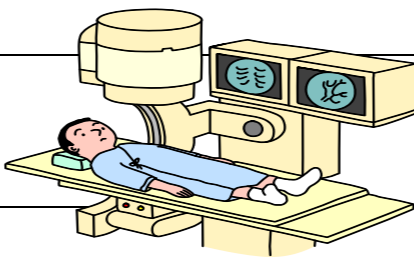


ID: _____ 患者氏名: _____ 様

経過	入院日(心臓カテーテル前日)	心臓カテーテル当日(検査前)	心臓カテーテル当日(検査後)	3日目(退院日)
日付	月 日 ()	月 日 ()		月 日 ()
目標	検査の内容が理解でき、検査を受けることができる。	予定通りに検査が終了する。		退院指導の内容がわかる。
説明 指導 教育	<ul style="list-style-type: none"> 医師より検査の説明を行います。 看護師が入院生活および検査の説明を行います。 (説明後、承諾書を記入し、提出して下さい) (医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい) ・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査中ご家族の方は東6B病棟でお待ちください。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師から検査結果について説明があります。 検査した手首は、強く曲げたり、力を入れたり、こすったりしないで下さい。 患者様が落ち着かれましたら、ご家族の方は帰宅可能となります。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院指導を行います。 医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。(検査直後に行うこともあります) 退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。
治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> 身長・体重を測ります。 体温・脈拍・血圧を測ります。 足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 手首の動脈(正中・橈骨)の拍動を観察し印をつけます。 検査に必要な部位(橈骨または大腿)の体毛を必要時剃ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査の前に排尿し、検査着に着替えます。 1時間前に手首の表面を麻酔するためのテープを貼ります。 検査前に点滴を行うことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴を継続します。 検査後1時間ごとに圧迫の空気を2mlずつ4回抜きます。 4回目の空気を抜いた1時間後に手首に巻いてあるバンドを外します。 点滴が終了後、留置針を抜去します。 	<ul style="list-style-type: none"> カテーテルを入れた部位の消毒を行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います。 心肺運動負荷試験または運動負荷試験、心臓超音波検査四肢血圧脈波検査を行うこともあります。 			
生活 行動		<ul style="list-style-type: none"> 車椅子で1階のカテーテル検査室へ行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査後はベッド上で安静にして下さい。 1時間後には、トイレまで歩くことができます。(足の付け根から行った場合は、6時間後になります) 手首のバンドを外したら、自由に歩くことができます。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます。 			<ul style="list-style-type: none"> 傷の状態に異常がなければ入浴できます。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 治療食となります。(カロリー・塩分制限) 水分に制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 午前検査は朝食が出ません。 午後検査は昼食が出ません。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査後、吐き気がなければ飲水・食事をすることができます。 	
内服薬	<ul style="list-style-type: none"> 今まで飲んでいた薬を変更することがあります。 			<ul style="list-style-type: none"> 退院時内服処方が出ます。
観察			<ul style="list-style-type: none"> カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。 検査終了後、造影剤を早く排泄するために、水分(お茶・水)を多めにとりましょう。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 検査の状況により、足の付け根の動脈からの検査になる可能性もあります。 			
備考	<ul style="list-style-type: none"> 特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無 			

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。